

「がん」コーナー新着図書の紹介(No. 10)

書名・著者・出版社(年)	内容紹介	請求記号	資料番号	内容分類・場所
『人生という教室』 ダヴィード・メナシェ 著 川田 志津 訳 東洋出版(2014. 7)	教師のメナシェは、脳腫瘍により余命宣告を受け、闘病の末、15年間勤めた教職を辞する。残された時間に人生の意義を見つけるため、全米各地の教え子に会う「ビジョン・クエスト」と名付けた旅に出る。教え子たちの成長した姿から得た答えとは何か。人間にとって目的を持つことの大切さを知り得る。	936/メナ	323243279	分類 脳腫瘍闘病記 がん関係図書コーナー がん8
『河辺家のホスピス絵日記』 河辺 貴子 ほか著 聖公会出版(2014. 6)	著者の河辺貴子さんが夫の龍一さんとつくったプライベートミニ新聞「116NEWS」と看病記を紹介する。大腸がんを患った龍一さんが聖ヨハネホスピスで受けたケアを事例に、終末期医療を考えるための内容にもなっている。最愛の人との日々が如何に貴重なのか改めて実感させられる。	916/カワ	323243253	分類 闘病記・終末期医療 がん関係図書コーナー がん8
『がん活力』 林 育生 著 太陽出版(2014. 8)	術後、5年生存率の低いがん患者の闘病記とは思えないほど深刻さはないが、がん手術の大変さを物語る内容である。死への覚悟と治療に責任を持つことで、医者の本気にさせる患者こそ最強の患者とする。しかし、治療に関わる全ての人に対する信頼と感謝の気持ちは忘れない。	916/ハヤ	323245928	分類 膀胱がん闘病記 がん関係図書コーナー がん8
『虹を生むひと』 サトミ セキ 著 幻冬舎ルネッサンス(2014. 8)	子宮体がんを宣告された著者が、以後5年間を書き綴った内容である。闘病に関する記述にとどまらず、コレクションの石の話、母親を看取ることの心情や催眠療法など多岐にわたる内容になっている。しかし、何事も主体性をもって前向きであることから、がんに向き合う姿勢に通じているように思える。	916/サト	323249342	分類 子宮体がん闘病記 がん関係図書コーナー がん8
『To Be Continued』 曾我 彩加 著 文芸社(2014. 9)	胃がんになることで、人に感謝して自分を見つめ直す機会を得たとしている。フラダンスという生きる目標を持つことで前向きに活動する著者の姿がある。また、リハビリに役立つエクササイズをイラスト付きで紹介している。	916/ソガ	323253070	分類 胃がん闘病記 がん関係図書コーナー がん8